

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和7年度第1回愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会		
事務局 (担当課)		総務部政策秘書課 内線 (3 2 1 8)		
開催日時		令和8年3月18日(水)午後1時30分～午後3時20分		
開催場所		愛川町役場2階201会議室		
出席者	委員	12人 (別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	5人 (総務部長、政策秘書課長ほか3人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合、その理由				
会議次第		1 開 会 2 愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会規則について 3 委員長及び副委員長の選出について 4 委員長あいさつ 5 議 題 第3期愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略令和6年度効果 検証報告書(案)について 6 報告事項 (1) 町政70周年記念事業について (2) 企業版ふるさと納税について 7 閉 会		

審 議 経 過

(1 / 4)

※審議の要旨は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

次第1 開 会

次第2 愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会規則について

次第3 委員長及び副委員長の選出について

次第4 委員長あいさつ

次第5 議 題 第3期愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略令和6年度効果検証報告書
(案)について

●（資料2に基づき説明）

○（委員長）ふるさと納税について、第3期総合戦略ではKPIを件数で設定しているが、町の税収増の観点から、件数ではなく寄附額を指標とすることも考えられる。

●寄附額については重要な指標であり、KPIとして設定することを検討してまいります。一方で、関係人口の拡大の観点から、寄附件数についても引き続き指標とすることを含め、額と件数の双方について検討してまいります。

○（委員長）ふるさと納税の寄附額が増加している点は評価すべきであり、達成率の数値のみが強調されることで実態が正しく伝わらない懸念があることから、今後、件数額のいずれを指標とする場合であっても、町にとって良い状況が適切に伝わるよう、注記等により分かりやすい説明を付すことをお願いしたい。

○（A委員）町内の事業所では人手不足が深刻化しており、外国人労働者の増加も見受けられる。こうした状況を踏まえ、今後の外国人労働者の受入れや人口動向について、町としてどのような見通しを持っているのか伺いたい。

審 議 経 過

(2 / 4)

●本町では、内陸工業団地の進出以降、南米系を中心に外国籍住民が多く、学校現場での支援員配置や多言語対応など、これまでも継続的に対応してまいりまして、近年はベトナムやスリランカなど東南アジア系住民が増加するなど国籍構成に変化が見られるが、外国籍住民の割合は従前から一定水準で推移しており、急増している状況ではございません。今後も、これまでの支援の取組を継続するとともに、DX の活用などにより多言語対応や生活支援の充実を図り、適切に対応してまいります。

○（A委員）全国的に廃業する事業者が増えており、後継者不足や事業承継への対応が重要な課題である。商工会による後継者セミナー等や M&A 支援の取組はあるものの、今後はより一層町と連携し、後継者育成や事業承継支援を強化していく必要がある。

●高齢化の進行や若年層の流出による事業承継が課題であると認識しておりますので、引き続き、関係機関と連携しながら、廃業対策や事業承継支援等について検討してまいります。

○（委員長）半原水源地跡地の活用について、新聞報道等で承知しているが、町と民間が連携した拠点形成により地域活性化につながることを期待されることから、当該事業の進捗状況について、説明をいただきたい。

●現在は、基本計画の改訂案ができましたので、議会をはじめ住民説明への明会、また、パブリック・コメント等により皆さんからご意見をいただいているところでございます。また、神奈川トヨタ自動車さんがパートナー企業として加わっていただきまして、一緒に実施を行う予定となっております。町内には、優れた観光資源がありますので、そういったものを結び付けられる、回遊性のある施設をつくり、そこを拠点に関係人口を増やして、地域の活性化を進めてまいりたいと考えております。

○(B委員) 県央地域は、宿泊を伴う観光客数が少ないというところが大きな課題となっております。この水源地での事業は宿泊もできると聞いており、期待をしておりますので、ぜひ頑張って進めていただきたい。

次第6 報告事項 (1) 町政70周年記念事業について

○(C委員) ダムナイト放流は非常にいいコンテンツと思いますが、会場が狭く、あまり人が多くは入れないのかなという印象があります。参加人数を増やすのは厳しいのでしょうか。

●夜間警備の問題もあり、増加は難しいようです。

○(D委員) 外部からの来訪者受入れによる交流事業については、町の魅力発信の観点から意義があると思いますが、宿泊や観光周遊など、交流事業以外の要素も含めて町内での滞在や消費につなげる工夫が必要だと思います。宿泊案内や観光周遊施策(割引等)を組み合わせ、町の多様な魅力を発信する取組を検討されたい。また、同様の機会を町民にも提供することを検討いただきたい。

●交流事業については、来訪者に町の魅力を知ってもらい、関係人口の創出や拡大につなげる取組として重要であると認識しております。いただいたご意見も踏まえ、来訪者の滞在や周遊につながる取組について、引き続き検討してまいります。また、町民向けについては、これまでも優先枠の設定等を試行しており、今後も認知向上を含めた取組を検討してまいります。

(2) 企業版ふるさと納税について

○(委員長) 寄附対象事業はあらかじめ明確に決まっているのでしょうか。それともいただいた金額により町で決定しているのでしょうか。

審 議 経 過

(4 / 4)

●地域再生計画に記載している事業の中で、企業様と相談の上で充当先を決めさせていただいております。

次第7

閉会

会長(委員長)
署名欄

岩崎忠

愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員名簿

(敬称略)

選出区分	団体名等	氏名	出欠
公募による町民等		石垣 春美	
		米田 美智恵	欠
学識経験を有する者	白鷗大学 法学部 教授	岩崎 忠	
教育関係者	愛川町教育委員会 教育委員	篠崎 美和	
関係団体等の代表者	神奈川県内陸工業団地協同組合 専務理事	荒井 英明	
	愛甲商工会 会長	中村 美好	
	県央愛川農業協同組合 理事	花上 美智子	
	神奈川中央交通株式会社 厚木営業所長	井上 誠	欠
	株式会社横浜銀行 愛川支店 支店長	森田 直樹	
	相愛信用組合 理事長	中島 満	
	厚木愛甲地域連合 会計監査	加藤 豊和	
	株式会社タウンニュース社 県央支社 支社長	宇佐美 真	
	町区長会 会長	吉邑 高志	
関係行政機関の職員	神奈川県 県央地域県政総合センター 企画調整部長	松谷 尚彦	

※委員の任期は、令和9年3月31日まで